

審決取消訴訟早見表 [No. 2] - 2008 年第 2 期 -

早見表の特徴

- 1 . 特許に関する審決取消訴訟の対象となった**事件の概要**が一目で分かります。
- 2 . **進歩性**について争われた事件に関しては、裁判所が取り上げた**争点となった項目**が一目で分かります。その中で、審決が取り消された事件に関しては、**取消事由となった項目**も一目で分かります。
- 3 . 特許に関する**最近の審決取消訴訟の動向**が一目で分かります。

目次

[表 1] - 基本項目 -	2
[表 2] - 進歩性の争点早分かり表 -	4
[表 3] - 各種統計 -	5
表の見方	6
進歩性の判断手順フローチャート	9

調査手順

判決言渡日が 2008 年 1 月 1 日以降の全ての特許に関する審決取消訴訟について判決の結果を逐次調査しており、判決言渡日基準で四半期分ごとに調査結果をまとめている。

審決取消訴訟のうち、進歩性の判断がなされたものについては、裁判所において争点となった項目を調査している。

この項目は、主に、進歩性の判断手順フローチャート（9 ページ参照）に基づいて分類している。

なお、どの項目が裁判所において争点となったのかの判断は、調査者の主観に委ねている。



進歩性部会

[表 1] - 基本項目 - (表の見方は 6 - 7 ページ参照願います)

判決言渡日	事件名	査定 / 当事者	審決	取消	特許要件等	技術分野
2008/4/7	平成 19(行ケ)10171	査定		×	進歩性	化学・バイオ
2008/4/17	平成 19(行ケ)10202	当事者	有	×	進歩性	電気・機械
2008/4/21	平成 19(行ケ)10120	当事者	有	×	進歩性	化学・バイオ
2008/4/21	平成 19(行ケ)10220	当事者	有		進歩性	電気・機械
2008/4/23	平成 18(行ケ)10171	当事者	無	×	進歩性	CS
2008/4/23	平成 19(行ケ)10248	当事者	有		進歩性	電気・機械
2008/4/23	平成 19(行ケ)10254	査定		×	進歩性	CS
2008/4/24	平成 19(行ケ)10054	当事者	無	×	進歩性	化学・バイオ
2008/4/24	平成 19(行ケ)10222	査定			進歩性	電気・機械
2008/4/24	平成 19(行ケ)10281	査定		×	進歩性	電気・機械
2008/4/24	平成 19(行ケ)10292	査定		×	進歩性	CS
2008/4/24	平成 17(行ケ)10586	査定		×	その他	化学・バイオ
2008/4/24	平成 19(行ケ)10333	当事者	無		訂正要件	電気・機械
2008/4/28	平成 19(行ケ)10346	査定		×	進歩性	電気・機械
2008/4/28	平成 19(行ケ)10261	当事者	有		進歩性	電気・機械
2008/4/28	平成 19(行ケ)10384	査定		×	進歩性	電気・機械
2008/5/14	平成 18(行ケ)10417	査定		×	進歩性	化学・バイオ
2008/5/15	平成 19(行ケ)10347	当事者	有	×	進歩性	化学・バイオ
2008/5/15	平成 19(行ケ)10144	当事者	無	×	記載要件(明確性)	化学・バイオ
2008/5/21	平成 19(行ケ)10241	当事者	有		進歩性	電気・機械
2008/5/21	平成 19(行ケ)10328	査定		×	進歩性	電気・機械
2008/5/28	平成 19(行ケ)10163	査定			その他	電気・機械
2008/5/28	平成 19(行ケ)10407	当事者	無	×	再審	電気・機械
2008/5/28	平成 19(行ケ)10297	査定		×	新規性	電気・機械
2008/5/28	平成 19(行ケ)10397	査定		×	進歩性	電気・機械
2008/5/28	平成 19(行ケ)10329	査定		×	進歩性	電気・機械
2008/5/28	平成 19(行ケ)10319	当事者	有		進歩性	化学・バイオ
2008/5/28	平成 18(行ケ)10172	当事者	無	×	進歩性	電気・機械
2008/5/29	平成 19(行ケ)10260	査定		×	進歩性	電気・機械
2008/5/29	平成 20(行ケ)10028	査定		×	進歩性	電気・機械
2008/5/29	平成 20(行ケ)10055	査定		×	その他	電気・機械
2008/5/30	平成 18(行ケ)10563	当事者	有	×	進歩性	化学・バイオ
2008/5/30	平成 19(行ケ)10300	当事者	無		訂正要件	電気・機械
2008/6/4	平成 19(行ケ)10269	査定		×	進歩性	化学・バイオ
2008/6/4	平成 19(行ケ)10373	当事者	有	×	進歩性	化学・バイオ
2008/6/11	平成 19(行ケ)10110	査定			補正要件	電気・機械
2008/6/12	平成 20(行ケ)10053	当事者	無		訂正要件	電気・機械
2008/6/12	平成 19(行ケ)10273	当事者	無	×	進歩性	電気・機械

進歩性部会

判決言渡日	事件名	査定/当事者	審決	取消	特許要件等	技術分野
2008/6/12	平成 19(行ケ)10308	当事者	無	×	サポート要件	化学・バイオ
2008/6/16	平成 19(行ケ)10244	査定			その他	電気・機械
2008/6/18	平成 19(行ケ)10366	査定		×	進歩性	電気・機械
2008/6/19	平成 19(行ケ)10323	査定		×	進歩性	化学・バイオ
2008/6/23	平成 19(行ケ)10409	査定			補正要件	化学・バイオ
2008/6/24	平成 19(行ケ)10369	査定			29条1項柱書	CS
2008/6/24	平成 19(行ケ)10313	査定		×	進歩性	電気・機械
2008/6/26	平成 20(行ケ)10123	当事者	無		その他	電気・機械
2008/6/26	平成 20(行ケ)10132	当事者	有		その他	電気・機械
2008/6/26	平成 19(行ケ)10229	査定		×	新規性	電気・機械
2008/6/26	平成 19(行ケ)10421	査定		×	進歩性	電気・機械
2008/6/30	平成 20(行ケ)10011	当事者	無	×	進歩性	電気・機械
2008/6/30	平成 19(行ケ)10417	当事者	無	×	進歩性	電気・機械
2008/6/30	平成 19(行ケ)10400	査定		×	進歩性	電気・機械
2008/6/30	平成 19(行ケ)10338	当事者	有		進歩性	CS
2008/6/30	平成 19(行ケ)10378	当事者	有	×	新規性	化学・バイオ
2008/6/30	平成 20(行ケ)10020	査定		×	新規性	電気・機械
2008/6/30	平成 19(行ケ)10305	当事者	無	×	進歩性	電気・機械
2008/6/30	平成 19(行ケ)10264	査定		×	進歩性	電気・機械



進歩性部会

[表 2] - 進歩性の争点早分かり表 - (表の見方は 8 ページ参照願います)

事件名	[A]	[B]	[C]	[D]	[E]	[F]	[G]	[H]	[I]	[J]
	発明認定	一致・相違点	技術分野	課題の共通性	機能	示唆	効果	動機付け不要	障害要因	後知恵
平成 19(行ケ)10171										
平成 19(行ケ)10202										
平成 19(行ケ)10120										
平成 19(行ケ)10220										
平成 18(行ケ)10171										
平成 19(行ケ)10248										
平成 19(行ケ)10254										
平成 19(行ケ)10054										
平成 19(行ケ)10222										
平成 19(行ケ)10281										
平成 19(行ケ)10292										
平成 19(行ケ)10346										
平成 19(行ケ)10261										
平成 19(行ケ)10384										
平成 18(行ケ)10417										
平成 19(行ケ)10347										
平成 19(行ケ)10241										
平成 19(行ケ)10328										
平成 19(行ケ)10397										
平成 19(行ケ)10329										
平成 19(行ケ)10319										
平成 18(行ケ)10172										
平成 19(行ケ)10260										
平成 20(行ケ)10028										
平成 18(行ケ)10563										
平成 19(行ケ)10269										
平成 19(行ケ)10373										
平成 19(行ケ)10273										
平成 19(行ケ)10366										
平成 19(行ケ)10323										
平成 19(行ケ)10313										
平成 19(行ケ)10229										
平成 19(行ケ)10421										
平成 20(行ケ)10011										
平成 19(行ケ)10417										
平成 19(行ケ)10400										
平成 19(行ケ)10338										
平成 20(行ケ)10020										
平成 19(行ケ)10305										
平成 19(行ケ)10264										



進歩性部会

[表 3] - 各種統計 -

第二期(平成20年4月1日～6月30日)

第二期(全体)

対象件数	取消し件数	取消し率
57	17	29.8%

第二期(進歩性関連)

対象件数	取消し件数	取消し率
40	7	17.5%

第二期(進歩性関連・査定系)

対象件数	取消し件数	取消し率
22	1	4.5%

第二期(進歩性関連・当事者系)

対象件数	取消し件数	取消し率
18	6	33.3%



表の見方

[表1] について

査定系審判か当事者系審判
を表記しています。

判決言渡日	事件名		査定 / 当事者	審決	取消し	特許要件等	技術分野
2008/1/16	平成	19(行ケ)10190	当事者	有	×	進歩性	電気・機械
2008/1/23	平成	19(行ケ)10200	査定		×	進歩性	電気・機械
2008/1/30	平成	18(行ケ)10293	査定		×	サポート要件	電気・機械
2008/1/31	平成	18(行ケ)10346	査定			進歩性	化学・バイオ

当事者系審判の場合に、特許が有効とされたものが取消訴訟の対象になっているのか(有)、特許が無効とされたものが取消訴訟の対象になっているのか(無)を表記しています。

判決言渡日	事件名		査定 / 当事者	審決	取消し	特許要件等	技術分野
2008/1/16	平成	19(行ケ)10190	当事者	有	×	進歩性	電気・機械
2008/1/23	平成	19(行ケ)10200	査定		×	進歩性	電気・機械
2008/1/30	平成	18(行ケ)10293	査定		×	サポート要件	電気・機械
2008/1/31	平成	18(行ケ)10346	査定			進歩性	化学・バイオ

審決が全部又は一部取り消されたか()、審決が維持されたか(×)を表記しています。

判決言渡日	事件名		査定 / 当事者	審決	取消し	特許要件等	技術分野
2008/1/16	平成	19(行ケ)10190	当事者	有	×	進歩性	電気・機械
2008/1/23	平成	19(行ケ)10200	査定		×	進歩性	電気・機械
2008/1/30	平成	18(行ケ)10293	査定		×	サポート要件	電気・機械
2008/1/31	平成	18(行ケ)10346	査定			進歩性	化学・バイオ



進歩性部会

裁判所が取り上げた争点に関して、進歩性が含まれている場合には「進歩性」と表記し、進歩性が含まれていない場合には、争点となった主な特許要件等（例えば、新規性、29条1項柱書、実施可能要件、サポート要件、先願、拡大先願、冒認出願、共同出願違反、単一性違反、補正要件）を表記しています。

判決言渡日	事件名		査定/当事者	審決	取消し	特許要件等	技術分野
2008/1/16	平成	19(行ケ)10190	当事者	有	×	進歩性	電気・機械
2008/1/23	平成	19(行ケ)10200	査定		×	進歩性	電気・機械
2008/1/30	平成	18(行ケ)10293	査定		×	サポート要件	電気・機械
2008/1/31	平成	18(行ケ)10346	査定			進歩性	化学・バイオ

発明の技術分野（化学・バイオ、電気・機械、コンピュータ・ソフトウェア）を表記しています。

判決言渡日	事件名		査定/当事者	審決	取消し	特許要件等	技術分野
2008/1/16	平成	19(行ケ)10190	当事者	有	×	進歩性	電気・機械
2008/1/23	平成	19(行ケ)10200	査定		×	進歩性	電気・機械
2008/1/30	平成	18(行ケ)10293	査定		×	サポート要件	電気・機械
2008/1/31	平成	18(行ケ)10346	査定			進歩性	化学・バイオ



進歩性部会

[表2] について

裁判所において判断の対象となった争点項目
について を記入しています。

事件名		[A]	[B]	[C]	[D]	[E]	[F]	[G]	[H]	[I]	[J]
		発明認定	一致・相違点	技術分野	課題の共通性	機能	示唆	効果	動機付け不要	阻害要因	後知恵
平成	19(行ケ)10190										
平成	18(行ケ)10490										
平成	17(行ケ)10506										

ココに注目：審決が取り消された事件において、
取消事由となった争点項目に を記入しています。

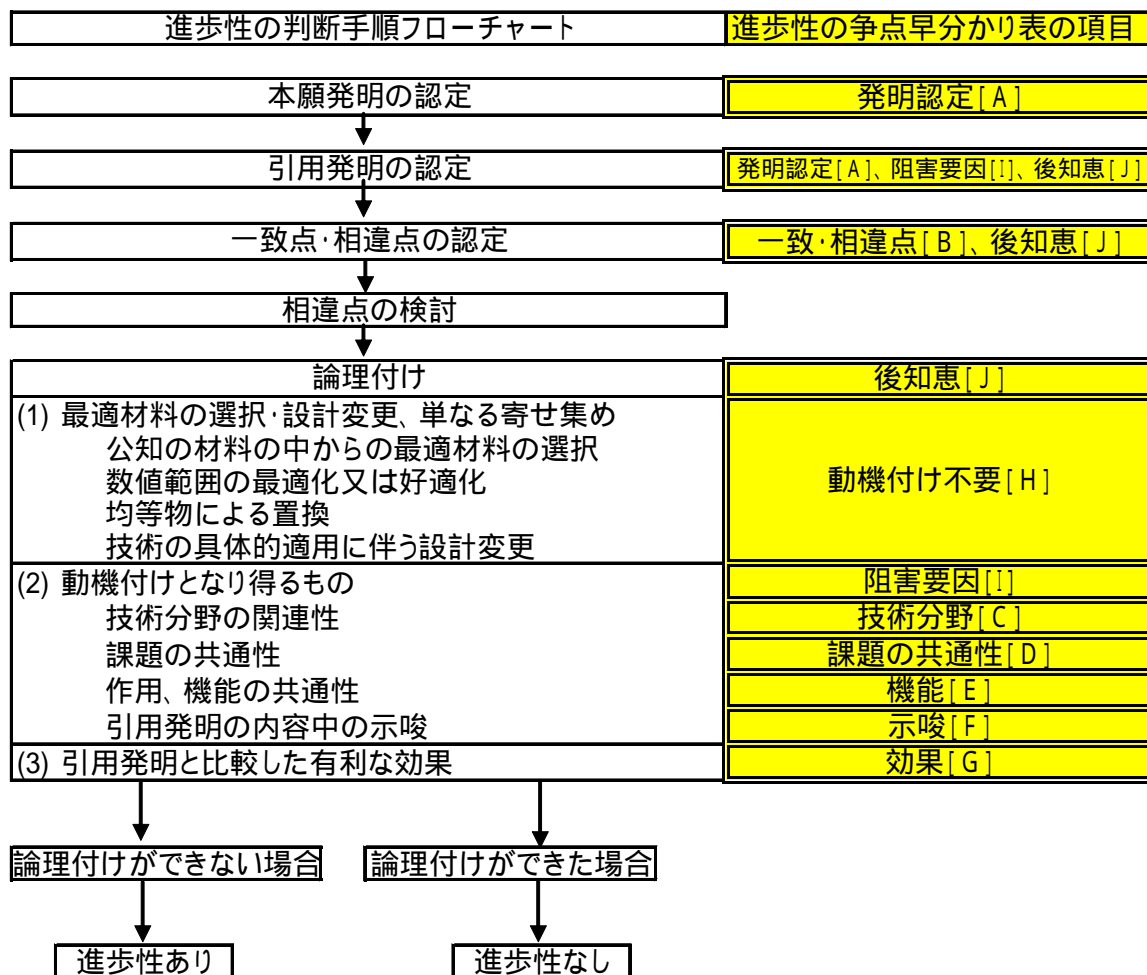
(注) 「争点項目」に関する詳細は、9ページの進歩性の判断手順フローチャートを参照して下さい。

[表3] について

審決取消訴訟において、審決が取り消された割合を様々な角度から割り出した結果を示しています。



進歩性部会



[編集者] 丹羽 武司
香坂 薫
坂井 浩一郎